



医師

第10回市民健康セミナーを終えて

形成外科医師 宮田 知里

平成27年11月14日(土) 中部ろうさい病院講堂にて第10回市民健康セミナー『がん医療の最前線』が開催されました。一昔前には困難とされてきた治療が医療の進歩により可能になる中、いったいどのような治療がどのように行われているのかと疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。今回のセミナーではそのほんの一部ですが、臨床で行われている最前線を分かりやすく知る事ができ、約200名もの方にご参加いただきました。

最初に『頭頸部がんについて』と題して当院の耳鼻咽喉科部長安藤篤先生が講演されました。一般的にはあまり聞きなれない頭頸部がんという言葉ですが、写真や統計などで視覚的に理解する事ができました。男性に多く、喫煙・飲酒ががんのリスクを高めると強調され、会場の皆さんの中には耳が痛いと感じる方がいたのかもしれませんが、今回の講演で少しでも多くの方が気をつけていただければそれだけでも価値のある講演であったと思います。やはり何よりも早期発見が重要で、飲食時のつかえ・止まらない鼻血・声がかすれるなどの症状があれば耳鼻科受診をするようにと締めくくられました。

次に名古屋市立西部医療センター陽子線治療科副部長の岩田宏満先生より『陽子線治療の現状と今後の展望』についてお話がありました。陽子線というあまりなじみの

無い分野ではありますが、国が力を入れ投資している最先端の治療とのことで多くの方が熱心に傾聴・質疑応答されていました。放射線治療は副作用が多く、大変だと聞いたことがある方もいらっしゃると思われます。しかし陽子線をさまざまな工夫をして当てることでその副作用を最小限に減らすことができ、かつ放射線の力を最大限発揮することが出来るということ、動画や原理とともに分かりやすくお話されました。今後臨床で行われる機会も増えてくるだろうとのことで皆さん期待を込めて聞いていた様に思われました。

以上が今回の内容になりますが、がんの治療は患者さんそれぞれに一番合ったものを選択していくことが重要となります。今回の講演で少しでも頭頸部がんと陽子線治療を身近に感じていただけたらと思います。

